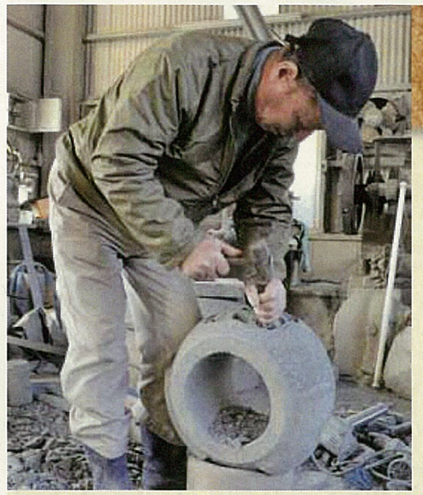
鳥取の手仕事 [最終回]

伝統の技と新たな挑戦

鳥取県の諸工芸

鳥取県には、和紙・絣・陶磁器の他にもさまざまな民工芸品が伝承されています。それぞれの分野で、脈々と伝統技法を受け継ぐ石灯ろう、和太鼓、和傘、菅笠の伝統工芸士や保存会を紹介します。



灯ろうを彫る冨永さん

出雲石灯ろうの伝統と進化 冨永石材店（境港市）

出雲石灯ろうの起源は奈良、平安時代といわれ、盛んになったのは江戸時代に入ってからです。石材に来待石という粒子の細かい軟質の砂岩を使用しており、色彩もよく、苔がつきやすく早く古色を帯びてきます。また、耐熱耐寒性に優れ、風化しにくい上に加工しやすいという長所があります。

江戸時代には、松江藩主がその価値を認めて、一般の人々が採ることが許されない「お止石」として保護されました。明治時代以後は造園、室内装飾などに欠くことのできない「石の美術品」として好評を得、広く全国で親しまれています。

冨永光雄さんの工場では、長男と次男の若い後継者が活躍しています。最近は、庭園用の石灯ろうの他に、照明やお地蔵さんなど室内で楽しめるものも作っています。

地域おこしに活躍する和太鼓 大柄太鼓店（日南町）

古代からの歴史がある和太鼓は、江戸時代頃に現代の形が定まったといわれています。その伝統と技を代々受け継ぐ、大柄磐治さんと重人さんは、中国地方でも数少ない和太鼓の製作者であり、親子で現役の伝統工芸士です。

地元の材料にこだわり、胴部には鳥取県産のケヤキを、皮には鳥取県産黒毛和牛の皮を使っています。牛皮のなめし、皮を張る作業など熟練された技と精魂込めて作り上げる匠の心、そして演奏者の気合いがひとつとなって、迫力ある響きとなって感動を伝えます。

重人さんは、太鼓演奏グループ「奥日野源流太鼓」を立ち上げたほか、ミニ太鼓製作教室など、子どもから大人まで楽しめる催しを手掛けるなど、製作だけでなく和太鼓の普及にも尽力しています。

淀江傘の復興に挑戦 淀江傘伝承の会（米子市）

淀江傘の起こりは、倉吉から来た倉吉屋周蔵が文政4年（1821年）に傘屋を開いたことによると言われています。淀江傘は番傘、蛇の目傘が主流で、実用性に富み、丈夫なことで知られています。蛇の目の形（梅の花型、亀甲型）や特有の糸飾りに特徴があります。

現在は、淀江傘の製造技術を伝承するため、昭和60年に「淀江傘伝承の会」を発足し、活動を続けています。工房見学やミニ傘製作体験も行っています。

材料は地元のものにこだわり、傘の骨は地元の真竹を、紙は鳥取県特産品の因州和紙を使っています。全国から注文があり、最近は、円周に幅広の黒い紙を張った「すそ黒番傘」や家紋入りの傘が人気だそうです。

特に糸飾りの技を引き継ぐ山本絵美子さんの作業は、緻密で優雅な仕上がりです。

大きさを調整した皮

幼稚園児でも作れるミニ太鼓製作キット

皮を張る大柄磐治さん

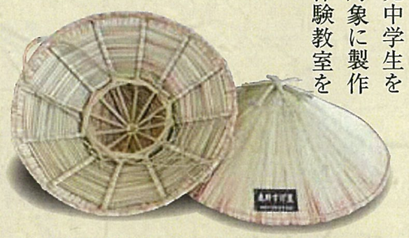
照明やお地蔵さんなどの新しい作品（冨永石材店）

右／集中して糸飾りを施す山本さん
左／蛇の目傘（梅の花型）の見事な糸飾り

地域で支える菅笠の伝承 鹿野すげ笠を守る会（鳥取市）

鹿野菅笠の起源は、約四〇〇年前、鹿野城主亀井茲矩が農村振興の一助に、副業として奨励したことに始まるとされています。昭和の半ばまで、田畑での農作業用笠として晴雨によらず使用された必需品でした。軽くて蒸れないので、今でも地元では広く愛用されています。

最盛期の昭和30年代は、海外まで輸出するほど栄えていましたが、近年、製作者は数名のみとなり、伝承するために、平成21年、守る会が結成されました。守る会は、菅の栽培から製作販売まで手がけ、地元中学生を対象に製作体験教室を開催するなど活発な活動を展開しています。



菅の根元に少し赤みがあるのが、鹿野菅笠の特徴。日差しが強いときは風通しが良く、雨の日は水気を含み、雨を通さないすぐれもの

民工芸を愛用しよう！

12回のシリーズでお届けした「鳥取の手仕事」。県内に受け継がれるさまざまな職人の手仕事をご紹介してきましたが、後継者の育成などが課題となっている分野も少なくありません。

県のホームページ「とっとりの手仕事」では、鳥取の民工芸品が買えるお店を紹介した地図「民工芸品ショップ県内版」を掲載しています。鳥取の民工芸品を、県外へのお土産や日常生活の道具、日々の食卓を彩る器として使ってみませんか？

皆様の民工芸品愛用こそが、技術の伝承と後継者育成の推進力、そして何より、製作者の励みとなります。

鳥取県郷土工芸名品展

鳥取県を代表する伝統的工芸品、民芸品などが多数出展される貴重な展示会です。ぜひご来場いただき、匠の技に直接触れてみてください。

■期日／3月9日（水）～14日（月）
■会場／鳥取大丸（鳥取市）

詳しくは…

●とりネット
「とっとりの手仕事」（手仕事全般）
http://www.pref.tottori.lg.jp/teshigoto
「とっとりの工芸品」（伝統的工芸品）
http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=95598
●パンフレット「鳥取の手仕事」
（鳥取県市場開拓室発行）をご覧ください。

問合せ先 県庁観光政策課
電話 0857-26-7237

菅笠の製作工程。
右上から、下地作り、下地まき、へいりつけ、笠縫い